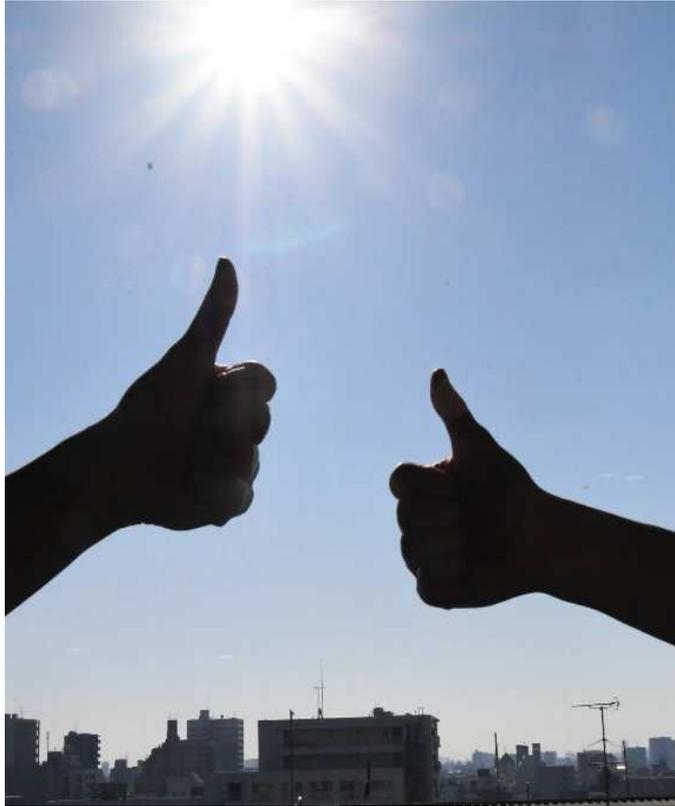


令和3年度

葛飾区予算案概要

【当初予算案主要事業概要】

抜粋



～ 劇的な変動期を 区民とともに乗り越える ～

令和3年2月



※子ども・子育て支援事業に関連するものを抜粋しております。

第2章 令和3年度重要施策と重点事業

1 子どもが元気に育ち、豊かな人間力を育む環境づくり

☞安心して子育てができる環境を充実させます！

誰もが安心して子どもを産み育てられるよう、子育てへの不安感を軽減するための支援や年間を通して利用しやすく質の高い子育て環境の充実などが求められています。

区では、妊娠期から子どもが成人するまでの期間を通して切れ目なく支援する「葛飾区版ネウボラ」を引き続き推進するとともに、支援の拠点施設として「子ども未来プラザ」を整備していきます。また、需要に応じた保育環境の整備や保育人材の確保支援等により保育施設等の質の向上を図り、仕事と子育てを安心して両立できる環境を充実させます。さらに、学力・体力向上を促進するため、わかりやすく理解が深まる授業の実施や運動する機会の拡大、グローバル人材の育成などについて創意工夫を重ねるとともに、学校施設の計画的な改築や大規模改修などを実施し、教育環境の向上を推進していきます。

1 健康・発育の支援

1 園 保育所等訪問支援事業【計画】（福祉費）

障害者施設課 3.4百万円

子ども発達センター（児童発達支援センター）の職員が保育所や幼稚園を訪問し、発達に課題がある児童の療育を行うとともに、当該施設の職員と連携して、保育を実施する体制を整備することにより、発達に課題がある児童への適切な支援を行います。

2 園 産後ケア体制の整備【計画】【拡大】（福祉費）

青戸保健センター・子ども家庭支援課 39百万円

産後の健康管理や授乳などに不安を抱える産婦に対して、心身のケアや授乳指導、

育児支援を行う産後ケア事業（宿泊ケア、乳房ケア、デイケア）を実施することで、安心して子育てができるよう支援します。

3年度は、産後うつの予防や新生児への虐待予防を図るため、産後間もない時期の産婦に対する健康診査に係る費用の助成を開始します。

産婦健康診査

開始時期 令和3年10月

対象者 産後2か月未満の産婦

助成額 5,000円／1回 ※一人2回まで

※P-31 葛飾区版ネウボラの推進に再掲

3 よちよちキッズ相談事業【新規】（福祉費）

青戸保健センター・育成課 36百万円

子育て支援等の情報提供や育児相談等を行うことで、相談支援体制の充実を図ります。また、相談後に育児パッケージ（こども商品券）を配付し、子育て世帯の育児支援を行います。

（1）対象者

令和3年度に1歳6か月を迎える子どもを育てる家庭

（2）内容

個別相談を実施し、必要な子育て支援等の情報提供や、育児の相談を行います。

（3）育児パッケージ

こども商品券 10,000円／1人

4 歯 妊婦歯科健康診査【計画】（衛生費）

健康づくり課 7百万円

妊娠中は身体や生活環境の変化により歯科疾患の増加が見られます。歯周病は、早産や低体重児出産を引き起こすリスクが高くなることが指摘されています。また、母親の口腔環境は生まれてくる子どもの口腔環境に大きな影響を与えるため、妊婦を対象とした歯科健康診査と保健指導を実施するとともに、出産後のかかりつけ歯科医の定着を推進します。

受診見込数 1,080人

※P-31 葛飾区版ネウボラの推進に再掲

5 園 かつしか子ども応援事業【計画】（福祉費）

子ども応援課 24百万円

家庭の経済状況や養育環境など様々な事情を有する子どもが、家庭や学校以外で安心して過ごすことができる場を提供します。

また、保護者の子育ての悩みや不安に応じる養育支援や、学習等の意欲を喚起する支援を行うとともに、高校生世代の中途退学未然防止のための支援や中学卒業後進路未決定者や高校中退者の学び直し、就学支援などを行います。

※P-31 葛飾区版ネウボラの推進に再掲

6 園 若者支援体制の整備【計画】（福祉費）

子ども応援課 11百万円

長期にわたり就学・就労等の社会参加ができずにひきこもり状態等にある若者や、人間関係・仕事・孤独・将来への不安などの悩みを持つ若者を支援するため、相談窓口において、本人又はその家族等からの相談を受け、関係機関と連携して適切な支援

を行います。

※P-31 葛飾区版ネウボラの推進に再掲

7 園 子ども・若者活動団体支援【計画】（福祉費）

子ども応援課 11百万円

社会生活を営む上で、様々な困難や事情を有する区内のおおむね39歳までの方に支援を行う地域活動団体に対し、活動の立上げに係る経費や運営経費の一部を助成し、活動を支援するとともに、地域活動団体との連携を深め、子ども・若者の自立や健やかな育成を図ります。

（1）事業立上げに対する助成

助成率 10/10

助成限度額 20万円/1団体

（2）活動費に対する助成

①日常的な支援活動

助成率 2/3

助成限度額 月1回以上実施 30万円/1団体

週1回以上実施 60万円/1団体

②子ども・若者支援等に資するイベント事業

助成率 2/3

助成限度額 60万円/1団体

8 園 養育費の受け取り支援事業【新規】（福祉費）

子ども応援課 0.5百万円

ひとり親世帯の経済的負担の軽減や子どもが健やかに成長できるよう、養育費の取

決めの重要性を啓発するとともに、公正証書の作成に係る費用や養育費立替保証に係る契約に必要となる初回の保証料の一部を助成します。

(1) 公正証書作成（公証人手数料）助成

助成限度額 43,000円（1回限り）

(2) 養育費立替保証に係る初回の保証料助成

助成限度額 50,000円（1回限り）

9 児童相談体制の強化【計画】（福祉費）

子ども家庭支援課・児童相談所設置準備担当課 50百万円

児童虐待や養育困難をはじめとした子どもと家庭の問題に対して、子ども総合センターが中核となって関係機関とのネットワークを更に深化させ、課題を抱える親子に対してかかわりを持ちながら、より適切な子育てサービスを提供する体制を構築します。

また、5年度中を目標に児童相談所・一時保護所を設置し、児童相談体制の強化を図ります。

スケジュール（予定）

令和2年度 基本計画策定、基本設計・実施設計

令和3年度 基本設計・実施設計（～10月末予定）

令和4年度 本体工事

令和5年度 竣工、開設

2 子育て環境の充実（重要プロジェクト）

1 園保育所の設置【計画】（福祉費）

子育て施設整備担当課 383百万円

保護者の就労等により保育が必要な家庭が多い中、年間を通じて利用しやすい保育環境となるように認可保育所や小規模保育所、認定こども園の整備を進めます。整備を計画する事業者に対して、施設整備費の一部を助成します。

3年度は、（仮称）新小岩二丁目保育園、（仮称）水元三丁目認定こども園、（仮称）四つ木一丁目認定こども園を整備します。

(1) （仮称）新小岩二丁目保育園

所在地	新小岩二丁目1番
定員	60人
保育内容 （予定）	11時間保育・2時間延長保育・緊急一時保育・障害児保育・ 産休明け保育・子育てひろば
施設規模	鉄筋コンクリート造 11階建（2・3階部分） 延床面積 約806㎡
開設予定	令和4年4月
運営者	ミアヘルサ株式会社

(2) （仮称）水元三丁目認定こども園（現：そあ保育園）

所在地	水元三丁目13番20号
定員	保育定員 99人（現在の定員90人） 教育定員 15人
保育内容 （予定）	11時間保育・2時間延長保育・緊急一時保育・障害児保育・ 産休明け保育・子育てひろば・一時保育
施設規模	新築棟 鉄筋コンクリート造 2階建 延床面積 約391㎡

既存棟 鉄骨造 2階建 延床面積 約685㎡

開設予定 令和5年4月

運 営 者 社会福祉法人 砂原母の会

(3) (仮称) 四つ木一丁目認定こども園 (現: 明昭幼稚園)

所 在 地 四つ木一丁目41番1号

定 員 保育定員 30人

教育定員 135人 (現在の定員240人)

保育内容 (予定) 11時間保育・1時間延長保育・緊急一時保育・障害児保育・
産休明け保育・認定こども園の子育て支援事業

施設規模 重量鉄骨造 3階建 延床面積 約1,375㎡

開設予定 令和5年4月

運 営 者 学校法人 関口学園

2 園「子育て支援施設の整備方針」に基づく施設整備 (福祉費)

子育て施設整備担当課・保育課 1,112百万円

子育て支援施設の整備方針に基づき、老朽化した子育て支援施設の更新を行います。

3年度は、西亀有保育園の建替えに併せ民設民営化の取組を進めます。上平井保育園・児童会館、小菅保育園・小菅児童館、白鳥保育園・白鳥児童館、渋江保育園・渋江児童館の建替えに合わせ子ども未来プラザの整備を進めます。

(1) 西亀有保育園 ((仮称) 西亀有三丁目保育園として整備予定)

所 在 地 西亀有三丁目31番

西亀有一丁目18番6号 (仮園舎)

定 員 未定 (現在の定員118人)

保育内容 (予定) 11時間保育・2時間延長保育・緊急一時保育・障害児保育・

産休明け保育・子育てひろば・一時保育

開設予定 令和5年4月（民設民営）

運 営 者 H I T O W A キ ャ ッ ヅ ラ イ フ 株 式 会 社

(2) (仮称) 子ども未来プラザ西新小岩

上平井保育園

所 在 地 西新小岩四丁目33番（子ども未来プラザ予定地）

定 員 未定（現在の定員156人）

保育内容 11時間保育・1時間延長保育・緊急一時保育・
（予定） 障害児保育

開設予定 令和4年夏頃（公設公営）

(3) (仮称) 子ども未来プラザ小菅

小菅保育園

所 在 地 未定（子ども未来プラザ予定地）

小菅二丁目19番1号（仮園舎）

定 員 未定（現在の定員106人）

保育内容 11時間保育・緊急一時保育・障害児保育
（予定）

開設予定 未定（公設公営）

(4) (仮称) 子ども未来プラザ白鳥

白鳥保育園

所 在 地 白鳥三丁目32番（子ども未来プラザ予定地）

西亀有一丁目18番6号（仮園舎）

定 員 未定（現在の定員120人）

保育内容 11時間保育・1時間延長保育・緊急一時保育・
（予定） 障害児保育

開設予定 令和7年度後半（公設公営）

(5) (仮称) 子ども未来プラザ東四つ木

渋江保育園

所在地 東四つ木2丁目15番（子ども未来プラザ予定地）

東立石三丁目3番15号（仮園舎）

定員 未定（現在の定員122人）

保育内容（予定） 11時間保育・1時間延長保育・緊急一時保育・
障害児保育

開設予定 令和5年度後半（公設公営）

3 園通年型預かり保育の実施【計画】（福祉費）

子育て支援課 182百万円

私立幼稚園及び認定こども園が実施している預かり保育において、保育時間や三季休業中の保育を拡大します。それにより、地域型保育事業の連携施設として、主に小規模保育事業所及び家庭的保育事業所に通園する児童の卒園後の受け入れ先のひとつとするとともに、保育を必要とする児童の就学前の施設選択の幅を広げます。

実施園 17園

4 園保育人材の確保【計画】（福祉費）

育成課・子育て支援課 49百万円

保育人材の確保と定着のため、就職支援コーディネーターによる相談支援に加え、大手保育人材確保支援事業者のノウハウを活用し、各種取組を一貫して行うことで、より効率的な保育人材確保支援を実施します。また、奨学金を返済している保育士への支援を実施し、区内で働くインセンティブにつなげます。

(1) 保育士求人サイトによる情報発信・就職フェア等の実施

大手保育人材確保支援事業者の運営する保育士求人サイトに葛飾区専用ページを開設し、全国に広く情報発信するとともに、就職フェアや潜在保育士等に向けた就職セミナーを実施します。

(2) 保育士募集パンフレットの作成

区内保育施設への就職希望者や保育士養成校の学生、さらには地方からの就職希望者に対して、葛飾区で保育士として働く魅力を発信します。

(3) 保育士奨学金返済支援事業

奨学金を利用して保育士資格を取得し、区内認可保育所等で勤務する保育士を対象として、奨学金の返済に要した費用を限度額の範囲内で助成します。

対象者 200人（見込み）

限度額 20,000円／月

5 園 幼稚園教諭奨学金返済金助成【新規】（福祉費）

子育て支援課 6百万円

奨学金を利用して幼稚園教諭免許を取得し、区内認定こども園及び私立幼稚園に勤務する幼稚園教諭を対象として、奨学金の返済に要した費用を限度額の範囲内で助成することにより、幼稚園教諭の人材確保と定着を促進します。

対象者 25人（見込み）

限度額 20,000円／月

6 園ゆりかご葛飾【計画】（福祉費）

青戸保健センター・育成課・子ども家庭支援課 88百万円

妊娠初期に個別に面接（ゆりかご面接）を行い、一人一人の状況にあわせた出産直後までのサポートプラン「葛飾区ゆりかごプラン」を作成し、必要な支援を行います。

乳幼児健康診査や産前・産後の母子を支える様々な事業や医療機関と連携し、就学期前までの継続的な支援を行います。

区民に身近な保健センターや子ども未来プラザなどにおいて、保護者の心身の健康の保持増進を図るための教室、講座等を実施します。また、妊娠・出産・育児に関する情報提供を行うほか、遊びなどの活動の中で気軽に相談に応じます。

※P-31 葛飾区版ネウボラの推進に再掲

7 多胎児家庭支援事業【新規】（福祉費）

青戸保健センター・育成課 40百万円

多胎児家庭を支援するため、家事支援や外出時の補助を行う家事サポーターを派遣するとともに、面接及び母子保健事業利用時の移動に要する費用を助成することで、多胎児家庭の負担軽減を図ります。

（1）移動支援事業

対 象 者	3歳未満の多胎児を養育する世帯
対 象 経 費	面接及び母子保健事業を利用時の移動に要する経費 ※0歳、1歳、2歳時に面接を受けることが要件
助 成 額	こども商品券 1世帯あたり 24,000円/年

（2）家事サポーター派遣事業

対 象 者	多胎妊婦世帯及び3歳未満の多胎児を養育する世帯
-------	-------------------------

利用時間上限	1世帯当たり	妊娠期～1歳未満	240時間／年
		1歳～2歳未満	180時間／年
		2歳～3歳未満	120時間／年
助成額	2,700円／時間		

8 園子育てひろばの設置【計画】（福祉費）

子育て施設整備担当課 14百万円

保護者の子育てに関する不安感の解消を図り、子どもの健やかな成長をサポートするため、親子で遊べる場、子育て中の親同士が仲間づくりや相談ができる場として、「子育てひろば」の整備を保育所の整備に合わせて進めます。整備を計画する事業者に対して、施設整備費の一部を助成します。

3年度は、（仮称）新小岩二丁目保育園、（仮称）西亀有三丁目保育園（旧西亀有保育園）で設置を進めます。

（1）（仮称）新小岩二丁目保育園

※所在地ほかは、P-16 保育所の設置（1）に記載

（2）（仮称）西亀有三丁目保育園（旧西亀有保育園）

※所在地ほかは、P-17 「子育て支援施設の整備方針」に基づく施設整備（1）に記載

9 園一時保育の設置【計画】（福祉費）

子育て施設整備担当課 0.8百万円

安心して子育てできる環境を整備するため、保護者の仕事の都合や通院のほか、自身のリフレッシュなどにより保育が一時的に必要なときに子どもを預かる施設の整備を、保育所の整備に合わせて進めます。整備を計画する事業者に対して、施設

整備費の一部を助成します。

3年度は、（仮称）西亀有三丁目保育園（旧西亀有保育園）で設置を進めます。

(1) （仮称）西亀有三丁目保育園（旧西亀有保育園）

※所在地ほかは、P-17 「子育て支援施設の整備方針」に基づく施設整備

(1)に記載

10 園 学校施設を活用した放課後子ども支援事業【計画】（教育費）

放課後支援課 187百万円

全ての児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができる環境を各小学校内を中心に整備します。

3年度は、飯塚小学校に併設する飯塚幼稚園の廃止に伴い園舎を改修し、学童保育クラブとして整備していきます。

※P-31 葛飾区版ネウボラの推進に再掲

3 仕事と生活の調和の推進

1 園 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）応援事業【計画】（総務費）

人権推進課 1.1百万円

区民一人一人に対し、それぞれの希望に応じて「仕事」と子育て・介護・地域活動などといった「仕事以外の生活」の調和（ワーク・ライフ・バランス）が図られるよう、区民・企業に向けた支援事業や、各種講座・セミナーの開催やイベントでの啓発活動などを実施します。

(1) 講座・講演会	企業向け講座・講演会	1回
	区民向け講座・講演会	2回
(2) 情報提供・啓発	産業フェア出展	1回

3年度は1人1台のタブレット端末配備に伴い、通信環境の増強や学習支援アプリケーション等の活用を図るとともに、ICT支援員を週2日から週5日に増員し、子どもたちが支障なくICTを活用できるよう、環境を整えます。

また、保護者連絡用アプリケーションを導入し、学校と保護者間の情報共有の迅速化・確実化を図ります。

※P-31 放課後等におけるオンライン学習環境の整備及び支援の充実及び

P-110 デジタル技術の効果的な活用推進に一部再掲

3 Ⅲ かつしかグローバル人材育成事業（英語によるコミュニケーション能力育成）

【計画】（教育費）

指導室 70百万円

社会のグローバル化によって、「国際競争力」や「経済競争力」のある人材を育成することが、学校教育においてより一層求められています。この人材育成のベースとなる「英語によるコミュニケーション能力」の育成を計画的に行うことによって、これからのグローバル社会をたくましく生き抜く「豊かな人間力」を育成します。

（1）日光移動教室における体験的外国語活動の実施

小学6年生の日光移動教室にALTが同行し、英語で会話をする時間を過ごします。

（2）夏季休業期間中の英語宿泊体験活動（イングリッシュキャンプ）の実施

福島県ブリティッシュヒルズにおいて、中学1・2年生100人を対象とした英語だけで生活する体験活動を行います。ロールプレイなどを取り入れている施設独自の体験プログラムにより、普段の授業では体験できない機会を過ごし、コミュニケーション能力の向上を図ります。

（3）葛飾教育の日を活用した「English Day」の実施

小学校においてALTを配置した外国語科及び外国語活動の授業公開を行います。

(4) 中学生英語検定料助成

中学2・3年生を対象に1回分の英語検定料を助成します。

(5) 地域英語教材の活用

区独自の小・中学生向け地域英語教材を活用した授業を実施します。

※P-31 葛飾区版ネウボラの推進及びP-113 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を見据えた取組に再掲

4 区 学校支援総合対策事業（発達障害の可能性のある子どもに対する重層的な支援体制の充実）【計画】（教育費）

学校施設担当課・学務課・指導室・学校教育支援担当課 96百万円

発達上の課題がある子どもに対して教員が巡回指導を行う「特別支援教室」を全小・中学校で実施します。

3年度は「自閉症・情緒障害特別支援学級（固定学級）」を、高砂小学校及び高砂中学校に加え、小・中学校各1校の増設の準備を行います。

※P-31 葛飾区版ネウボラの推進に再掲

5 区 学校支援総合対策事業（不登校対策プロジェクト）【計画】（教育費）

学校施設担当課・学務課・指導室・学校教育支援担当課 45百万円

不登校やその傾向にある子ども一人一人の状況に応じた支援策について、教員経験者と心理専門員が学校と定期的に協議し、学校が家庭と連携して子どもの将来に向けた社会的な自立を支援します。

また、登校できない状況にある子どものため、「ふれあいスクール明石（適応指導

教室)」を運営するとともに、登校はできるものの教室に入ることのできない子どもを支援するための「校内適応教室」を、3年度は新たに一之台中学校と青葉中学校に設置します。

※P-31 葛飾区版ネウボラの推進に再掲

6 園いじめ防止対策プロジェクト【拡大】（教育費）

指導室・学校教育支援担当課 6百万円

区、学校、地域が連携・協力していじめ防止の徹底を図るほか、いじめの兆候が見えた場合は、当該学校において速やかに学校いじめ問題対策委員会で協議し、早期に組織的な対応を行います。

3年度は、学校の適切な初動対応のため、学校現場の相談を受け、問題解決を図るためのスクールロイヤーを導入します。

7 園学校支援総合対策事業（日本語指導の充実）【計画】（教育費）

学務課・指導室・学校教育支援担当課 43百万円

来日直後等で、日常の学校生活で使う日本語や生活習慣についての指導が必要な子どもに対して日本語の初期指導を行う「にほんごステップアップ教室」を運営します。

また、「日本語学級」において、授業に必要な日本語の指導を行います。

さらに、日本語の理解が十分でない児童・生徒及びその保護者と教職員との間の意思疎通を支援するため、日本語通訳を派遣します。

※P-31 葛飾区版ネウボラの推進に再掲

8 Ⅷ 体力向上のための取組み【計画】（教育費）

指導室 12百万円

子どもの体力の一層の向上のため、「かつしかっ子体力アッププログラム」を実施し、学校で子どもが運動する機会を増やします。また、体育の授業を充実させることで、運動好きの子どもの育成と体力の向上を図ります。さらに、小学校においては外部指導員を活用し、運動の意欲を高める取組を実施します。

※P-31 葛飾区版ネウボラの推進及びP-113 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を見据えた取組に再掲

9 Ⅷ 学校施設の改築【計画】（教育費）

学校施設計画担当課・学校施設担当課・学務課 5,279百万円

適切な学習環境を確保できるよう、学校規模の適正化や老朽化の状況などを踏まえ、地域バランスを考慮しながら学校改築を進めます。

また、学校は地域の核となる公共施設であり、災害発生時には地域の避難所としての機能も併せ持っていることから、改築に当たってはそれらの機能の強化に向け、地域の方々とともに検討しながら整備していきます。

3年度は引き続き改築・改修を進めるほか、柴又小学校、宝木塚小学校、常盤中学校で基本構想・基本計画の策定に取り組みます。

(1) 本田中学校

所在地 東立石四丁目7番1号

施設規模 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造地上4階建

延床面積 改築棟 約3,943㎡

改修棟 約2,162㎡

実施内容 外構整備工事

竣工予定 令和3年8月

(2) 東金町小学校

所在地 東金町一丁目33番1号

施設規模 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造地上4階建

延床面積 約8,407㎡

実施内容 新校舎建設工事、既存校舎解体工事、外構整備工事

竣工予定 令和4年8月

(3) 西小菅小学校

所在地 小菅一丁目25番1号

施設規模 鉄筋コンクリート造地上3階建

延床面積 改築棟 約3,528㎡

改修棟 約2,026㎡

実施内容 新校舎建設及び改修工事

竣工予定 令和5年9月

(4) 高砂けやき学園高砂小学校・高砂中学校

所在地 高砂三丁目30番1号(高砂小学校)

高砂三丁目32番1号(高砂中学校)

施設規模 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造地上4階建

延床面積 約13,967㎡(既存施設の改修部分含む。)

実施内容 新校舎建設工事

竣工予定 令和6年3月

(5) 水元小学校

所在地 水元四丁目21番1号

実施内容 実施設計、仮設校舎建設

竣工予定 令和8年4月

(6) 道上小学校

所在地 亀有四丁目35番1号

実施内容 実施設計、仮設校舎建設

竣工予定 令和8年7月

(7) よつぎ小学校

所在地 四つ木四丁目8番1号

施設計画 四ツ木中学校との一体整備を検討中

実施内容 基本設計

(8) 二上小学校

所在地 東新小岩七丁目18番1号

施設計画 保育園との合築

実施内容 基本設計

(9) 柴又小学校

所在地 柴又四丁目30番1号

実施内容 基本構想・基本計画の策定

(10) 宝木塚小学校

所在地 宝町二丁目29番23号

実施内容 基本構想・基本計画の策定

(11) 常盤中学校

所在地 金町二丁目11番1号

実施内容 基本構想・基本計画の策定

10 放課後等におけるオンライン学習環境の整備及び支援の充実【新規】

(福祉費・教育費) (一部再掲)

育成課・指導室・放課後支援課・中央図書館 90百万円

放課後等に1人1台のタブレット端末を活用してオンライン学習ができるよう、わくわくチャレンジ広場、学童保育クラブ、子ども未来プラザ、全図書館のWi-Fi環境の整備に取り組みます。また、タブレット端末の操作に困ったときや、通信環境に関する保護者等からの相談に応じる窓口を設置します。

※P-110 デジタル技術の効果的な活用推進に再掲

※Wi-Fi環境の整備に関する経費の一部は、P-24 教育情報化推進事業及びP-55 にいじゅく地区図書館の整備に再掲

11 学校体育館への冷暖房機器の設置【計画】 (教育費)

学校施設担当課 535百万円

安全で適切な教育環境を確保するため、また、災害発生時の地域の避難所としての機能を向上させるため、学校体育館に順次冷暖房機器を設置しています。

3年度は、小学校22校の体育館に冷暖房機器を設置します。

5 葛飾区版ネウボラの推進 (重要プロジェクト)

1 葛飾区版ネウボラの推進 (福祉費・衛生費・教育費) (再掲)

子ども家庭支援課・健康づくり課・指導室ほか 622百万円

妊娠期から子どもが成人するまでの期間を通して、妊娠・出産・子育てを切れ目なく支援するしくみを「葛飾区版ネウボラ」として推進します。

(福祉費) 162百万円

・産後ケア体制の整備 (P-11)

- ・かつしか子ども応援事業（P－13）
- ・若者支援体制の整備（P－13）
- ・ゆりかご葛飾（P－21）

（衛生費） 7百万円

- ・妊婦歯科健康診査（P－13）

（教育費） 453百万円

- ・学校施設を活用した放課後子ども支援事業（P－23）
- ・かつしかグローバル人材育成事業（英語によるコミュニケーション能力育成）
（P－25）
- ・学校支援総合対策事業（発達障害の可能性のある子どもに対する重層的な支援体制の充実）（P－26）
- ・学校支援総合対策事業（不登校対策プロジェクト）（P－26）
- ・学校支援総合対策事業（日本語指導の充実）（P－27）
- ・体力向上のための取組み（P－28）